

# 刺繡で肉球再現

「ペットロス克服の助けにもなれば」

洋服のリフォーム事業などを展開する株式会社グラン・ママ奈良(橿原市葛本町・山本直紀代表取締役)は、愛犬や愛猫の写真から、刺繡で肉球の形状を再現した立体ワッペン・キーホルダーを作成するサービス「お手手ワッペン」の販売を行っている。自身も犬を飼っている山本社長が、ペットロスを乗り越える助けにもなればと開発。商品開発に至るきっかけやその思い、今後の展開などについて話を聞いた。

橿原市 株式会社グラン・ママ奈良



「グラン・ママについて教えてもらいますか。」

会社の始まりは、母親の内職です。それを父親が手伝うようになり、工場を持つてと大きくなってきました。そして業界大手のパートナー企業と一緒に事業を進めるところで、われわれもさらに大きくなることができ、現在、和歌山県や滋賀県などに13店舗を開、ネット通販の「楽天市場」にも出店しています。

「業務内容は、

基本的には洋服のほつれやサイズが合わなくなったり、不快になる部分を直すことを行っています。他にも人から譲つてもらったものや、亡くなった家族が使っていたものを着たいといったなどの相談にも対応させていただいている。

「お手手ワッペン」開発のきっかけは、

コロナ禍で店が閉店し、百貨店や商業施設も臨時休業せざるを得なく、また人が出歩けない状況になりました。そうなるとほとんどの洋服を店まで持ってきて相談に来ていただくという事業を展開する、私たちのような洋服直し業が求めら

## 写真をもとに刺繡するサービスも検討

れなくなる感じました。台風であれば1日、多く

て2、3日臨時休業することがあるため、1ヶ月、2ヶ月休むということはありませんでした。これまで行ってきた事業モデルが外部環境の変化の影響でできなくなる。そういう初めての状況を体験し、新たな取り組みが必要と思うようになりました。自分たちが持っているのは、縫製と刺繡などの技術です。そこで何ができるかと考え始めました。

できるのではと考えています。私自身がペットロスにならないように開発した思

いもあります。自分の子ども先に亡くなるということはほぼありません。しかし、犬や猫は平均寿命や健康寿命を考えると、約10年間しか一緒に生きることができます。今回ワッペンは残り続けることができるかと想

めています。また肉球の写真データがあれば、亡くなつたあとでも作り続けることができます。

「別の展開などはお考えですか。」

開発中のものが、例え撮影した犬猫の全体写真をもとに刺繡で再現するサービスを考えていました。

今は色の再現など試行錯誤

している状況ですが、これ

がもっと簡単に、よりクオリティーを出せるものにな

ればと進めています。

他では、私たちの本業部分になる、高齢の猫や犬に絞ったオーダーメードのマナーパンツです。高齢になると体の見える部分にさまざまな症状がでてきます。そういう際に、外に出ても嫌な思いをされないように直しなればと。また

この業界では、職人さんが我慢を強いられる場面、苦労することが多くあります。クリエイティブな仕事というのは安定性、また精神的な安心が担保された環境の中で生まれるものだと

思っています。これから業界が続いていく中で、従来

球の写真データも送信していただきます。サービスを開始してから日に日に注文数が増えていました。

人形制作も

できれば、

すぐに全て

ができるも

のではない

ですが、段階的に実現できれば、

考えていま



写真から肉球を再現した「お手手ワッペン」



写真を刺繡で再現する開発を進める